

平成 15 年度日本光学会総会

平成 15 年度総会は、2004 年 3 月 29 日(月) に東京工科大学において開催されました。まず、山本公明幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明がありました。

- Optical Review の Vol.10 は、Vol.9 の倍の掲載論文数となった。電子出版に関しては、Springer 社との契約問題に決着がつかず、先送りとなってしまった。
- 光学シンポジウムは約 406 名の参加者があり、たいへん盛況であった。
- サマーセミナーは社会人からの要望もあり 1 泊 2 日の開催とした。
- Optics Japan は初めての試みとして、展示会の併設、プレナリー講演の無料公開を行った。これらの効果も相まって、684 名という過去最高の参加者を得ることができた。また、光産業技術振興協会との共催で、「光とバイオ、光と医療」と題する講演会を開き、193 名の参加者を得ることができた。
- 国際会議として今年 7 月に開かれる ICO の準備を進めている。
- 前年度から準備を進めていた日本光学会事務局が、光学資料室の一角において実質的な活動を始めた。
- 選挙運営ワーキンググループの答申に従った幹事選挙を行った。
- 産学官連携委員会を設置し活動を始めた。長期的事業として展開していく予定である。

続いて、川田庶務幹事より平成 15 年度事業報告および平成 16 年度事業計画、田中会計幹事より平成 15 年度決算報告および平成 16 年度予算案が提示され承認されました。最後に、来年度より新幹事長となる東京大学黒田和男教授の紹介がありました。

総会に先立ち平成 15 年度光学論文賞授賞式が行われ、西澤典彦氏(名古屋大学)と宮本智之氏(東京工業大学)が受賞されました。総会終了後、西澤、宮本両氏による光学論文賞授賞記念講演が行われました。

なお、日本光学会の平成 15 年度事業および平成 16 年度の計画などに関する情報は、第 7 号の「日本光学会平成 15 年度年次報告」の中に詳細が掲載される予定です。